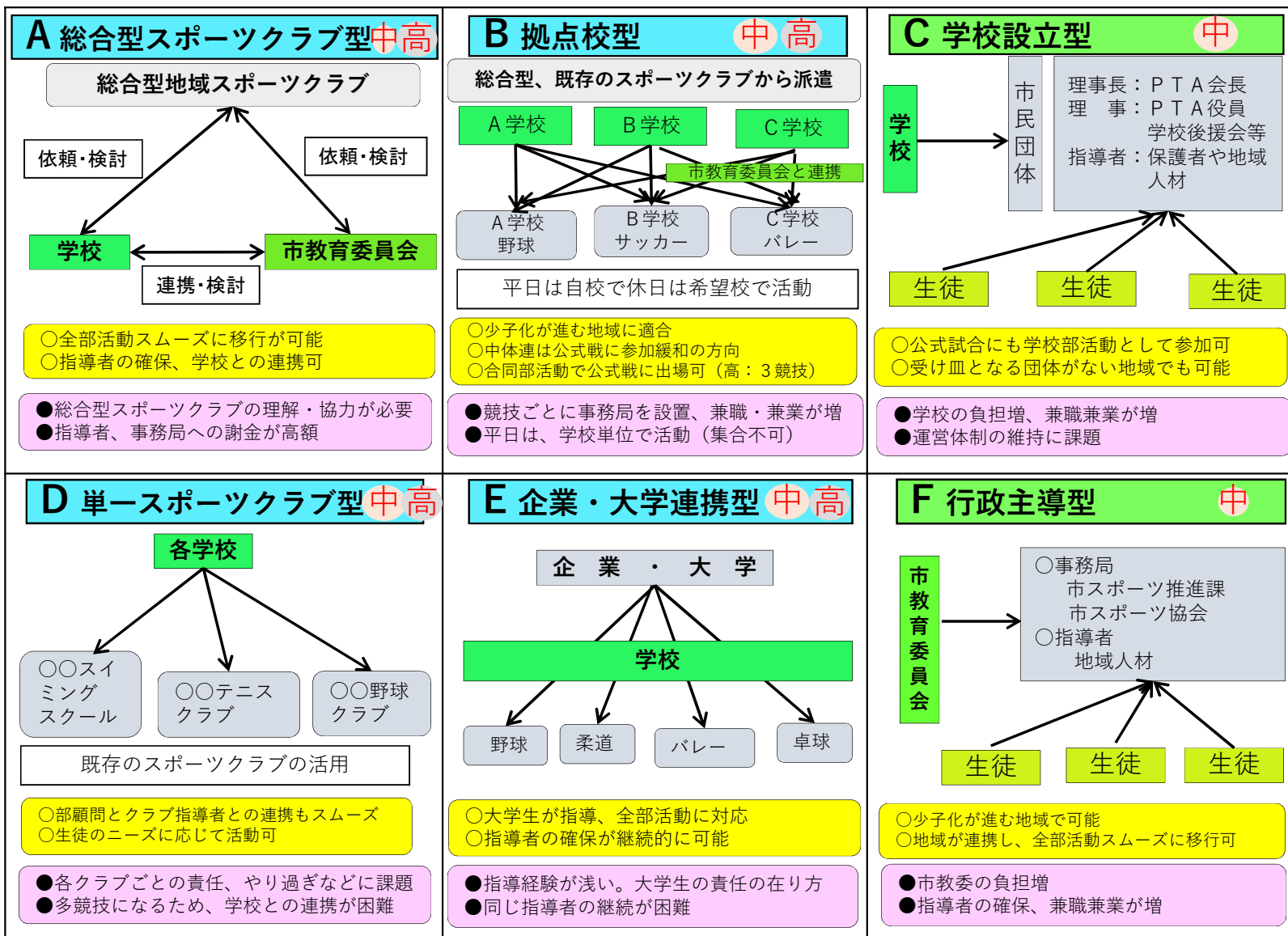


地域移行パターン



A 総合型地域スポーツクラブ型について

<主な特徴>

事務局となる総合型地域スポーツクラブがある場合、このパターンが理想的である。総合型地域スポーツクラブは、事務局として出納管理や学校との連絡調整及び生徒、指導者の保険加入など運営事務を行う。地域の人材や単一のスポーツクラブ指導者などが、総合型地域スポーツクラブに指導者として所属し、地域部活動を指導するシステムである。これは、総合型地域スポーツクラブだけではなく、民間のスポーツクラブなどもこのパターンと同様になる。

<主な役割例>

- ◇ コーディネーター：総合型地域スポーツクラブ等
- ◇ 指導者：退職教員、地域のスポーツ指導者、スポーツ推進委員、保護者等
- ◇ 事務局：総合型地域スポーツクラブ等
- ◇ 活動場所：学校、スポーツクラブ施設

A 総合型地域スポーツクラブ型について

<期待される効果>

- 全部活動移行が可能である。
- 加入者が多くなれば、一人当たりの会費も低額になる。
- 学校と連携がスムーズであり、運営体制が整っているため、安心して任せられる。
- 学校部活動と同じ活動体制（活動場所等）で取り組めるため、生徒・保護者の理解・協力を得やすい。
- 指導者から専門的な指導を受けられ、技能や意欲が向上する。
- 学校ではできなかった活動ができる。生徒のニーズに対応できる。（学校部活動とは違う種目ができる）

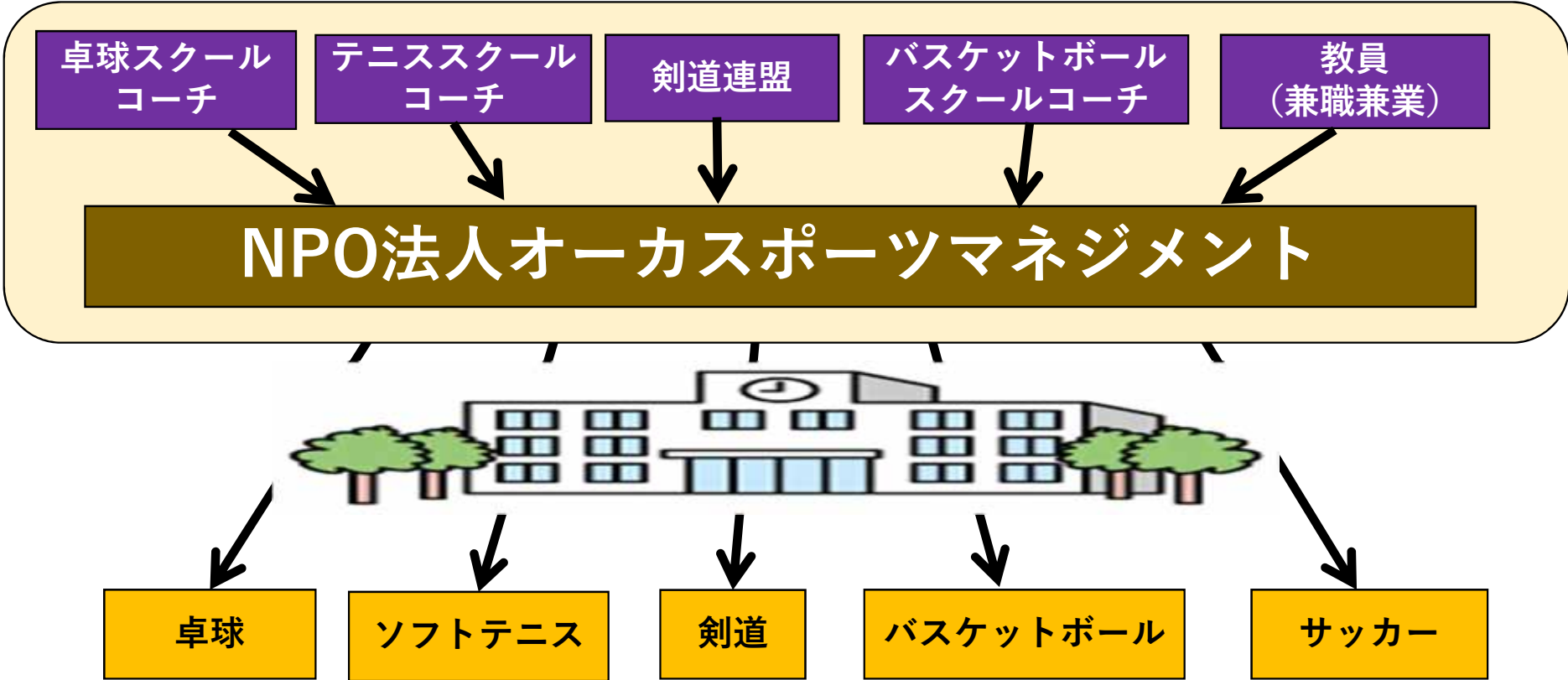
<想定される課題>

- 事務局となる総合型地域スポーツクラブの理解・協力が必要である。
- 事務局の負担が大きい。（安全管理、指導者・学校との連絡調整、会計管理等）
- 専門的な指導者の場合、謝金額が高額になる場合もある。
- 加入者が少なくなると、一人当たりの会費が高額になり、家庭の負担が増える。

A 総合型地域スポーツクラブ型の事例

- ◆ 双葉台中学校による地域部活動の取組
- ◆ 県内にある総合型地域スポーツクラブ
(茨城県総合型地域スポーツクラブ協議会加盟団体)
- ◆ NPO法人クラブ・ドラゴンズ (龍ヶ崎市)
- ◆ 東海村総合型地域スポーツクラブ スマイル東海 (東海村)

双葉台中学校による地域部活動の取組 (A 総合型スポーツクラブ型)



活動内容

- 運営団体：NPO法人オーカスポーツマネジメント
- 活動日等：土日どちらか週1回程度 指導時間数の上限120時間
- 会費：1,000円/月 (今年度は後援会費で負担)
- 保険：スポーツ安全保険に加入 800円/人

<保護者・地域への説明>

- R3.4 部活動前期代表保護者会
- R3.10 PTA実行委員会、部活動後期代表保護者会
- R3.11 1,2年生部活動保護者会

来年度は、全部活動を地域に移行することが決定

県内にある総合型地域スポーツクラブ（茨城県総合型地域スポーツクラブ協議会加盟団体）

◆総合型地域スポーツクラブとは

人々が、身近な地域でスポーツに親しむことができるスポーツクラブで、子供から高齢者まで（多世代）、様々なスポーツ（多種目）を愛好する人々が、初心者からトップレベルまで、それぞれのレベルに合わせて（多志向）参加できる、地域住民により運営されるスポーツクラブ。

◆県内36市町村50クラブ（令和3年10月現在）

水戸地区：11、県北地区：5、鹿行地区：5、県南地区21、県西地区：8

◆現状は、小学生、成人、高齢者を対象とした活動がほとんどであるが、**中・高校生を対象とした教室を開催**しているクラブもある。

◆NPO法人クラブ・ドラゴンズ（龍ヶ崎市）

【特徴】**アスリートクラスを開設・大学との連携**

（A 総合型スポーツクラブ型・E 企業・大学連携型の融合パターン）

出典：NPO法人クラブ・ドラゴンズHPより

《新体操ピンクドラゴンズ》

《Dragons TC》

○新体操教室から選抜されたクラス。**全国大会出場**を目標に、**週5回**の練習。**中体連の試合**(学校から)や**クラブチームの試合**にも多く参加。

○**中学校に陸上競技部がないという中学生の受け皿**になるために作られたクラス。自己記録更新を目指す子から**全国大会を目指す子までそれぞれの目標に対応**。

・対象：小1～高3

陸上競技部に入部していても入会可能。

・日時：火・水・木(18:00～21:00)

・対象：中学生

土・日 (9:00～16:00)

・日時：月・水・木(18:00～20:00)

・月会費：選手 23,280円、育成 14,560円

日(ステップクラス)(10:00～12:00)

・場所：流通経済大学スポーツ健康センター
メインアリーナ等

・月会費：週3クラス 8,440円、ステップクラス 1,500円

・場所：流通経済大学龍ヶ崎フィールド等

◆東海村総合型地域スポーツクラブ スマイル東海（東海村）

出典：スマイル東海HPより

【特徴】（公財）東海村文化・スポーツ財団が支援 地域密着型

（A 総合型スポーツクラブ型）

○様々な教室の開催のほか、地域スポーツイベント等も開催する

- ・年会費 新規会員：中・高校生 3,600円、継続会員：中・高校生 3,000円、その他受講料は競技ごとに設定。
- ・地域密着の特徴として、東海村に在住、在学、在勤の方（在勤者の同居家族も含む）を対象。
また、法人年会費30,000円（1口）、協賛会費50,000円（1口）を設定。
- ・小学生以下のみを対象とした教室：体操、硬式テニス、ミニバスケットボール、バレーボール、卓球、キッズビクス（エアロビクス）
- ・中・高校生以下を対象とした教室：陸上（中学生以下のみ）、競技エアロビクス
- ・東海スマイルマラソン大会を実施（年1回）
小・中学生が参加するマラソン競技の部、家族で参加する家族の部、小学生、一般で参加する駅伝の部

《ジュニア陸上教室》

○レベルに応じた指導を行い、陸上競技の正しいフォームを学ぶ。

- ・日時：4月～7月の毎週木曜日（全15回／1期）（19：45～20：45）
- ・場所：東海南中学校グラウンド
- ・受講料：7,500円／期
- ・指導者：茨城大学陸上部

《ジュニア陸上教室アスリートクラス》

○陸上の基礎を学びながら競技会への出場を目指す教室。

- ・日時：土・日・祝日（月4回程度）（1回2時間程度）
- ・場所：笠松運動公園ほか
- ・受講料：1,000円／回程度
- ・指導者：元教員

《競技エアロビック教室》

○エアロビックの大会・検定に出場することを目的に、月4日程度練習を行う。

- ・受講料：4,000円（月謝制）
- ・指導者：日本エアロビック連盟テクニカルアドバイザー

B 拠点校型について

<主な特徴>

学校部活動の拠点校型と似た形式である。競技ごとに拠点校を指定し、専門の指導者を派遣するパターンである。1つの学校で設立することが難しい場合、地域が一体となって取り組める形である。その場合、一つの総合型地域スポーツクラブや民間のスポーツクラブ等に事務局をお願いするか、競技ごとに、事務局が違ふ単一スポーツクラブ型をとることもできる。地域で拠点となる学校、競技が決まれば、生徒に地域部活動を勧めることができる。生徒も、専門の指導を受けられるとともに、部員不足を解消できる。

<主な役割例>

- ◇ コーディネーター：学校、市町村担当課等
- ◇ 指導者：スポーツクラブ指導員、兼職兼業教員等
- ◇ 事務局：各スポーツクラブ事務担当
- ◇ 活動場所：学校

B 拠点校型について

＜期待される効果＞

- 部員不足を解消できる。
- 生徒間の交流が生まれ、区域外通学や部活動による転校を防げる。
- 設立までは、当該校の校長同士の連携は必要になるが、運営が始まれば、普通のクラブチームに参加していることと同様の活動になる。
- 学校の負担が少なく、教員の負担軽減にもつながる。
- 加入がしやすく、学校ではできなかった活動ができる。生徒のニーズに対応できる。（学校部活動とは違う種目ができる）

＜想定される課題＞

- 全部活動を移行することが難しい。
- 事務局を統一することが難しく、それぞれ競技毎の運営になると考えられる。
- 拠点校が遠い場合は、保護者の送迎が必要になる。
- 合同チームとして中体連の大会に出場する場合は、学校と連携する必要がある。
- 受益者負担のため、加入者が少ない場合は、運営が厳しくなる。
- 運営団体が用具類の準備をしなければならない。
- 学校間の連携が必要になる。

B 拠点校型の事例

◆ 八王子市教育委員会の取組 拠点校方式の部活動

八王子市ホームページ

<https://www.city.hachioji.tokyo.jp/kurashi/kyoiku/003/004/008/p004790.html>

◆ 神戸市教育委員会の取組 拠点校部活動

神戸市教育委員会ホームページ

<https://www.city.kobe.lg.jp/a33992/kosodate/education/bukatsudou.html>

八王子市教育委員会 拠点校方式による部活動 (B 拠点校型)

出典：八王子市HPより

<目的>

八王子市の市立中学校・義務教育学校に在籍する生徒の文化・スポーツにおける多様なニーズに応え、学校・地域・保護者の理解と協力を得ながら、部活動指導員を活用した拠点校方式による部活動を実施し、持続可能な部活動の実現を図る。

<実施主体>

事業主体：八王子市教育委員会

実施主体：八王子市立中学校・義務教育学校

<参加生徒の活動> ※抜粋

- ・生徒は、拠点校における部活動の方針に従う。
- ・拠点校への移動は徒歩を原則。必要に応じて交通機関を利用。移動にかかる経費は参加する生徒の保護者の負担とし、保護者の責任により対応する。
- ・在籍校での部活動参加については、在籍校部活動顧問及び拠点校の承認を得る。
- ・生徒又は保護者が、拠点校の部活動の方針に従わず、改善されない場合は、拠点校の学校長が生徒の活動を中止することができる。
- ・拠点校部活動に関する生徒の活動については、拠点校の学校長が決定することとし、必要に応じて、在籍校の学校長と協議するものとする。

種目	拠点校	活動日時	募集条件	公式戦への参加可否
陸上競技	市立第二中学校 中野上町4-28-1 Tel. 624-2135	月、火、水、金、土 平日 16時～18時30分 (冬季は18時まで) 休日 8時30分～11時30分	○学校の決まりを守ることができる生徒 ○陸上競技が好きな生徒	在籍校からの参加
陸上競技	市立中山中学校 中山1158-1 Tel. 635-0521	月、水、土 平日 16時～18時 土 9時30分～12時30分	○公共交通機関を利用して通うこと(自転車不可) ○拠点校部活動の規則に準ずること ○目的意識をもって練習できること	在籍校からの参加
陸上競技	市立上柚木中学校 上柚木3-17 Tel. 678-2580	金 16時～18時 土 9時～12時 ※上柚木公園陸上競技場で活動	○ニュータウン地区の市立中学校に在籍する生徒 ○上柚木陸上競技場まで公共交通機関を利用して30分以内で通える生徒	在籍校からの参加
陸上競技	市立別所中学校 別所2-28 Tel. 676-6635	月、木、金 16時～18時30分 休日 9時～12時	○拠点校の部活動のルールに従い、積極的に活動できる生徒 ○施設利用料は個人負担	在籍校からの参加
軟式野球	市立第四中学校 元本郷町2-21-1 Tel. 622-7227	月、木、金、土(日) 平日 16時～18時 休日は、大会等により活動時間が変わる。	○練習にまじめに取り組める生徒 ○学校生活のきまりをしっかりと守り、部活動を含めた様々な活動に積極的に取り組める生徒	不可
軟式野球	市立第五中学校 明神町4-19-1 Tel. 642-1634	月、水、木、金(土または日) 平日 16時～18時 休日 午前又は午後 (活動時間は日により変わる。)	○継続的に参加し、学校及び拠点校部活動のルールに従い活動できる生徒 ○公共交通機関を利用して通うこと(自転車不可)	不可
柔道	市立城山中学校 川町792-2 Tel. 665-7256	月、火、金 平日 16時～18時	○2、3年生は昨年度から継続、1年生は柔道の経験のある生徒 ○公共交通機関を利用し、片道30分程度で通える生徒	在籍校から個人参加は可
剣道	市立松木中学校 別所1-34-1 Tel. 678-2588	月、火、木、金 ※土、日に練習会や大会が入ることがある。 平日 16時～18時	○剣道に関する内容を理解し努力できる生徒	在籍校から個人参加は可
剣道	市立由井中学校 片倉町553 Tel. 642-2148	月、金 16時～18時	○剣道経験者	在籍校から個人参加は可
男子バレーボール	市立みなみ野中学校 みなみ野6-14-2 Tel. 636-0061	火、水、木、金(土または日) 平日 16時～18時30分 休日 午前又は午後 (活動時間は日により変わる。)	○バレーボールに興味があり、真剣に取り組める生徒 ○規律を守れる生徒	不可 (合同チーム編成可)
ソフトテニス	市立恩方中学校 上恩方町11 Tel. 651-3652	月、火、木、金 15時50分～18時 土 9時～12時	○部の決まりを遵守できる生徒	在籍校から個人参加は可
バドミントン	市立打越中学校 打越町349-1 Tel. 645-3046	火、木 16時～18時30分 休日 午前又は午後 (活動時間は日により変わる。)	○拠点校の部活動のルールに従い、積極的に活動できる生徒	在籍校から個人参加は可

神戸市教育委員会 拠点校部活動 (B 拠点校型)

出典：神戸市教育委員会HPより

<目的>

校区の中・義務教育学校に進学しても、小学校時に親しんできた種目の運動部活動（個人種目9種目とバスケットボール）がなく、強く、その希望する部活動を続けたい生徒のニーズに応えることが目的。

<参加できる生徒>

- ・小学校時に経験してきた種目の運動部活動が自校になく、拠点校部活動要項を厳守し、継続して活動する意思のある生徒。
- ・在籍・拠点校両校の承認が得られ、生徒・保護者の申し入れで誓約書を交わした生徒。
- ・原則として各年度の新1年生と前年度参加生徒とする。
- ・小学校時に1年以上継続して経験してきた生徒を対象とする。

<概要>

- ・活動日は、土日や長期休業中が中心、交通費・用具等は自己負担とする。
- ・個人種目：公式試合の引率は、在籍校教員か拠点校顧問または保護者が行う。
- ・バスケットボール種目：公式戦を含む校外の活動における引率は、保護者が行う。
- ・独立行政法人日本スポーツ振興センターの適応を受ける。
- ・拠点校は、顧問の異動で変更になることがある。

【種目及び拠点校】

R2年度

種目	ブロック	拠点校
1. 卓球	全市	飛松 (男)
		兵庫 (男・女)
		王塚台 (女)
2. 柔道	全市	垂水 (男・女)
		神港橋高 (男・女)
		科学技術高 (男・女)
		渚 (男・女)
		駒ヶ林 (男・女)
3. 剣道	東灘・灘・中央	鷹匠 (男・女)
	兵庫・長田・垂水・須磨・西	歌敷山 (男・女)
	兵庫・長田・北	雲雀丘 (男・女)
	北	大原 (男・女)
4. 体操	全市	湊翔楠 (男・女)
		神戸生田 (男・女)
		神港橋高 (男・女)
5. 相撲	全市	夢野 (男)
6. バドミントン	全市	港島学園 (男・女)
7. 陸上	中央・灘・東灘 兵庫・長田	上野 (男・女)
	北・兵庫・長田	鈴蘭台 (男・女)
	西・垂水・須磨	押部谷 (男・女)
	兵庫・長田	福田 (男・女)
8. 水泳	東灘	本山 (男・女)
	灘・中央・兵庫・長田・北	湊翔楠 (男・女)
	須磨・垂水・西(要相談)	本多間 (男・女)
	西	神戸高専 (男・女)
9. バスケットボール	【東部】東灘・灘・中央	住吉 (男)
	【東部】東灘・灘・中央	鷹匠 (女)
	【西部】兵庫・長田・須磨・垂水・西	塩屋 (男)
	【西部】兵庫・長田・須磨・垂水・西	太田 (女)
	【北部】北	有野 (男)
10. テニス	【北部】北	大原 (女)
	東灘・灘・中央・北	本山 (男・女)
	兵庫・長田・須磨・垂水・西	井吹台 (男・女)

※在住のブロック内拠点校に参加することを原則とします。

C 学校設立型について

<主な特徴>

地域に総合型地域スポーツクラブや民間のスポーツクラブ等がない場合、学校がPTAや後援会と連携して市民団体を設立することが考えられる。保護者、地域から設立に理解を得られた場合、スムーズに設立することができる。市民団体が運営するためには、事務局を担う人材を確保する必要がある。また、指導者の確保を市民団体が担わなければならない。学校の意見が反映しやすく、連携がスムーズであり、生徒にとってはこのパターンが学校部活動と変わりなく活動できる。

<主な役割例>

- ◇ コーディネーター：学校、市町村教育委員会等
- ◇ 指導者：退職教員、地域のスポーツ指導者、スポーツ推進委員、保護者等
- ◇ 事務局：学校設立団体
- ◇ 活動場所：学校

C 学校設立型について

<期待される効果>

- 全部活動移行が可能である。
- 生徒、保護者及び地域の理解が得やすい。地域のコミュニティが活性化する。
- 生徒は、学校部活動と代わりなく進められ、大会参加も同様の形を得やすい。
- 学校と連携しているため、平日の実施も可能になる。
- 指導者の謝金が高額にならない。
- 加入がしやすく、学校ではできなかった活動ができる。生徒のニーズに対応できる。（学校部活動とは違う種目ができる）

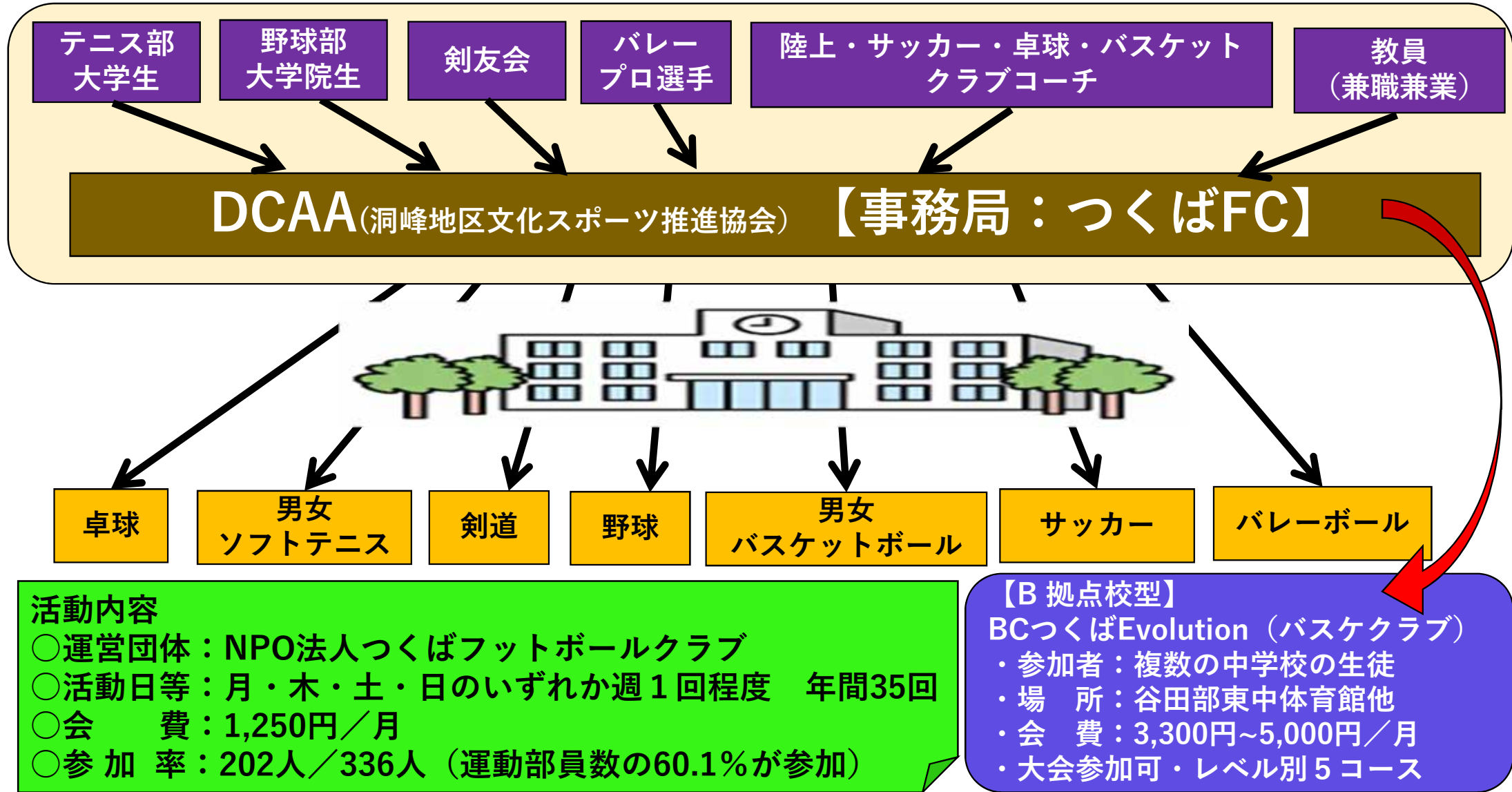
<想定される課題>

- 運営するまでには、生徒、保護者及び地域に理解を得て設立するため、管理職の負担が大きい。
- P T Aの役員を市民団体の役員にした場合、年度ごとに更新しなければならない。
- 事務局を担う人材、指導者の確保が難しい。教員の兼職兼業が多くなる。
- 事務局の負担が大きい。（安全管理、指導者・学校との連絡調整、会計管理等）
- 受益者負担のため、加入者が少ない場合は、運営が厳しくなる。

C 学校設立型についての事例

- ◆ つくば市立谷田部東中学校による地域部活動の取組
- ◆ 岐阜県羽鳥市の取組
- ◆ 神奈川県立平塚工科高校ラグビー部のクラブ化の取組

谷田部東中学校による地域部活動の取組（C 学校設立型）



岐阜県羽島市では (C 学校設立型)

- はしまなごみスポーツクラブの設置
 - ・学校の休日部活動を地域クラブへ移行
 - ・保険、入会金 **年間6,900円**
 - ・土日、祝日に活動
 - ・平日は、学校で顧問教員が指導
 - ・教員の兼職・兼業も可
- 学校と地域のスポーツクラブが融合**したスポーツ環境の確保
 - ・生徒の選択肢が増える
 - ・専門家による質の高い指導が継続的
 - ・教職員の働き方改革

神奈川県立平塚工科高校ラグビー部のクラブ化（C 学校設立型）

高校ラグビー部が母体となったクラブチームを設立。部員数や個人の実力にかかわらず、すべての部員が存分に試合を楽しむことができる環境づくりを目的とし、『勝利至上主義、補欠文化からの脱却』を目指す。

- クラブチーム「湘南アルタイルズ」の設立（R3春）部顧問が発案し実現
 - ・ 学校外の高校生(外部生)も加入可（地域不問、高校生が対象、参加無料）
 - ・ 練習は週3回（個人の状況で回数減も可）
 - ・ 外部生は高体連主催大会には出場不可
 - ・ 外部生は練習試合や公式戦には出場可
- 「KCリーグ」（独立リーグ）の発足 KC：KANAGAWA Camaraderie-League
 - ・ 県内のノーシード校33校のうち23校がエントリー
 - ・ 1試合内で部員全員の出場を義務付け
 - ・ チームの最終順位をつけない
 - ・ チーム間の選手の貸し借り自由

D 単一スポーツクラブ型について

<主な特徴>

各地域に既存のスポーツクラブがある場合、その部活動のみをスポーツクラブに移行することができる。現在、ほとんどの学校の水泳部の生徒は、スイミングスクールに通っており、学校で活動はしていない。大会に出場する場合は、学校の所属で出場している。この取組は、単一スポーツ型といえる。さらに、柔道や剣道などは、各地域に道場が設置されており、各連盟と連携して休日の部活動をお願いすることで、移行できる可能性が高いと考える。少年団との違いは、団体の代表者が生徒から運営資金を集め、指導者に対して謝金を払うことでボランティアによる活動ではなくなり、地域部活動として設置できる。

<主な役割例>

- ◇ コーディネーター：学校、市町村担当課等
- ◇ 指 導 者：各スポーツクラブ指導者
- ◇ 事 務 局：各スポーツクラブ事務担当
- ◇ 活 動 場 所：各スポーツクラブ使用施設

D 単一スポーツクラブ型について

<期待される効果>

- 既存の単一クラブに移行するため、運営体制が確立している。
- 生徒のニーズに応じて活動ができ、地域部活動で大会参加もできる。
- 指導者から専門的な指導を受けられ、技能や意欲が向上する。
- 学校部活動と同じ実施体制で取り組め、保護者の理解・協力を得やすい。
- 学校も安心して任せることができ、顧問との連携もスムーズにできる。
- 加入がしやすく、学校ではできなかった活動ができる。生徒のニーズに対応できる。（学校部活動とは違う種目ができる）

<想定される課題>

- 事務局が多数になるため、学校との連携が困難である。
- 単一クラブごとに、運営体制や指導体制が異なるため、やり過ぎなどに注意が必要である。
- 専門的な指導者の場合、謝金額が高額になる。
- 加入者が少なくなると、一人当たりの会費が高額になり、家庭の負担が増える。
- 全部活動の移行ができない。
- 各クラブごとに、会費が違う。

E 企業・大学連携型について

<主な特徴>

地域にある企業や大学と連携し、競技経験がある社員や大学生を指導者として、学校の部活動に派遣する。大学生は、卒業があるため、毎年度同じ学生が指導者として指導することはできないが、大学等と連携を密にすることで継続して学生を派遣することが可能になる。指導者の確保が課題になることが多いが、このパターンの場合、指導者確保の課題が少なく継続的である。

<主な役割例>

- ◇ コーディネーター：企業、大学、市町村教育委員会
- ◇ 指導者：企業職員、大学生、大学部活動OB、大学関係者等
- ◇ 事務局：企業・大学と連携している団体、大学が別組織を設立した団体
- ◇ 活動場所：学校、企業使用施設、大学使用施設

E 企業・大学連携型について

<期待される効果>

- 全部活動移行が可能である。
- 指導者確保が容易にできる。
- 専門的な指導を受けることができる。
- 平日の実施も可能になる。
- 指導者の謝金が高額にならない。
- 学校ではできなかった活動ができる。生徒のニーズに対応できる。（学校部活動とは違う種目ができる）

<想定される課題>

- 大学と連携する場合、事務局は、大学とは別な組織が考えられる。大学と学校との綿密な打ち合わせが必要になってくる。
- 学生が卒業してしまおうと、指導者が代わる。
- 学生への指導者としての資質向上を大学側に委ねる必要がある。

E 企業・大学連携型についての事例

- ◆ 長野県飯田市の取組
- ◆ 沖縄県うるま市の取組

長野県飯田市では (E 企業大学連携型、F 行政主導型の融合型)

- 全市型競技別スポーツスクールの設立
 - ・ 市内全9中学校の生徒15競技を対象としたスポーツスクールを開設
 - ・ 10月～3月に活動 平日19:30～21:00
 - ・ **1回500円** (参加者支払)
 - ・ 主体性と多様な**スポーツニーズに対応**
- 筑波大学アスレティック部門と**協定を締結**
 - ・ 明確な根拠に基づいた部活動改革
 - ・ 学術的サポート体制の構築
- オフ期間 (11月～1月) の導入
 - ・ 冬季間の中学校**部活動をオフ**にする「ジン・チャレンジ期間」の導入

沖縄県うるま市では (E 企業大学連携型、F 行政主導型の融合型)

○ 民間企業・団体と連携した「地域部活動」の設置

- ・ 自治体×スポーツデータバンク沖縄が中心となり、自治体主導のスポーツクラブを発足
- ・ 市全体の部活動の受け皿にするとともに、地域企業とも連携して、**収益の多様化・確保を模索**

○ 企業協賛型部活動支援モデルの構築

- ・ 市内9校26部活動（市内10校離島含む）への外部支援を実施
- ・ 学校での練習のみ単独で指導 引率は無し
- ・ 年間96時間
- ・ **指導者謝金1回4,000円**

F 行政主導型について

<主な特徴>

地域に総合型地域スポーツクラブや民間のスポーツクラブがない場合、行政が中心となって設置するパターンである。市町村のスポーツ推進課等が地域のスポーツ協会、競技団体と連携し、指導者を確保し中学生を指導するスポーツ教室を毎週実施するような形式をとる。行政が中心となっているため、学校、生徒、保護者からも理解を得やすく、指導者も確保しやすい。地域が一体となって取り組めるため、地域の協力やコミュニティが生まれる。

<主な役割例>

- ◇ コーディネーター：市町村担当課、市町村教育委員会
- ◇ 指導者：スポーツクラブ指導員、退職教員、保護者、兼職兼業教員等
- ◇ 事務局：市町村担当課
- ◇ 活動場所：学校、市町村施設

F 行政主導型について

<期待される効果>

- 学校、生徒及び保護者から理解が得やすいとともに、地域の協力も得やすい。
- 地域が一体となり、地域のコミュニティが生まれる。
- 指導者への謝金が高額にならずに、受益者の金銭的負担も減る。
- 学校とも連携しやすく、条件が合えば中体連の大会出場も可能となる。
- 中学生以外の参加も可能になる。
- 加入がしやすく、学校ではできなかった活動ができる。生徒のニーズに対応できる。（学校部活動とは違う種目ができる）
- 全競技を設置することができれば、部活動の全てを移行できる。

<想定される課題>

- 地域の競技団体、スポーツクラブと連携し、指導者を確保する必要がある。

F 行政主導型についての事例

◆ 埼玉県白岡市の取組

埼玉県白岡市では (F 行政主導型)

- 白岡市が**委託団体**「A S K (アスク)」を設立
 - ・外部指導者がA S Kに指導者として登録
 - ・A S Kから指導者に謝金 (報酬)
- 市内4中学校の運動部・文化部の10の部活動を対象
 - ・**A S Kが市教委、学校と連絡調整**
 - ・活動は、週末1回
 - ・顧問教員の兼職・兼業も可
 - ・令和5年度には全ての部活動で実施予定

参考 その他の事例

- ◆ (公財)茨城県サッカー協会による中学生へ取組
- ◆ Elite Rugby Academy (ERT) の取組

【参考】(公財)茨城県サッカー協会による中学生への取組

◆育成いばらき事業

STR (Save The third grade at j.h. Retire:中学3年生引退救済) 事業

【目的】

中学校総合体育大会終了後(6月～7月頃)に引退となった**中学3年生が継続的にサッカーに取り組める場を茨城県サッカー協会が準備**し、高校生年代でのサッカー活動に向けての**レベルアップ**を目指せる環境を整えること、または**サッカーを楽しむ場**を設けることを目的とする。

【協力(指導者派遣等)】

鹿島アントラーズ、水戸ホーリーホック、流通経済大学、筑波大学、FC古河

【対象】**中学3年生(クラブチーム所属選手は除く)**

【会場】**県内6拠点**で実施

- ・ 県北地区 : 諏訪スポーツ広場、折笠スポーツ広場
- ・ 県央地区 : 水戸ツインフィールド、常磐大学高校、水戸桜ノ牧高校
- ・ 県東地区 : アントラーズクラブハウス
- ・ 県西地区 : 古河第一小学校
- ・ 県南地区① : 流通経済大学
- ・ 県南地区② : つくばアカデミーセンター、セキショウチャレンジスタジアム

【回数】**各地区8回(1回2時間程度)**、9月～12月で実施。

【参加料】**1,000円/回** ※令和2年度：延べ267名の申し込み



提供：茨城県サッカー協会

参考 Elite Rugby Academy (ERT)

◆クラブチーム

- 【特徴】
- ・茨城県出身の競技経験者(プロコーチ、トップリーグ経験者、教員)が指導。
 - ・**企業(個人)設立の技術指導型クラブ。**
 - ・**スキルに特化**したコーチを週替わりで配置。ラグビーに必要な基礎な技術を専門的に指導。**メンバー選考やレギュラー争いもない**ので、個人スキルのレベルアップと何よりも楽しさに特化して活動。

- 【目的】
- ・個人スキルを伸ばすことを第一に、子供たちの自己肯定感、自己効力感を養う。
 - ・小学校のラグビー競技経験者が**中学校に進学しても活動を続けられる**ようにする。

【対象】 **小学4年生～中学3年生**

【会場】 私立水城高校グラウンド

【回数】 **毎週金曜日 19:00～21:00**

【参加料】 **入会費：5,000円 参加費：1,500円／1回**



提供：Elite Rugby Academy